

2015年3月10日

各位

株式会社 野村事務所  
代表取締役社長  
野村 生次

<連絡先> ライフサイエンス事業部 轟 利美  
Tel 03-3502-1470

## ホソカワミクロン株式会社開発“機能性 PLGA ナノ粒子”の 医薬 GMP 大規模製造拠点の確立について

当社は、2011年よりホソカワミクロン株式会社(東証1部、6277)が開発した機能性 PLGA<sup>\*1</sup> ナノ粒子化技術の技術移転を受け、ダイソー株式会社(東証1部、4046)の子会社サンヨーファイン株式会社(大阪市西区)をGMP<sup>\*2</sup>基準の量産製造の拠点とするため、技術移転を進めて参りましたが、この度、技術移転が完了し、世界初となるGMP基準によるPLGAナノ粒子の大規模製造拠点の確立に至りましたのでお知らせいたします。

これまで機能性 PLGA ナノ粒子は、ホソカワミクロン株式会社にて育毛剤や基礎化粧品製造の根幹技術として、自社製品の開発や OEM 商品の製造をしておりました。また、医薬受託研究事業でも製薬企業や医薬ベンチャー企業、大学等から委託を受け、薬物封入 PLGA ナノ粒子としてホソカワミクロンで設計・試作し、各種研究用途に提供しておりました。しかし、各分野で実用化の開発が進むにつれて、最終製品である医薬製剤や医療デバイス向け等に使用する PLGA ナノ粒子のGMP基準による大規模供給体制が求められていました。

このような状況下、機能性 PLGA ナノ粒子化技術のサンヨーファイン株式会社への技術移転による大規模製造拠点の確立により、薬物封入 PLGA ナノ粒子の受託事業は、研究初期の実験用粒子から最終製品用 GMP 基準粒子まで需要に応じた製造が可能となり、医薬分野における様々な新薬開発ニーズに的確に対応することができることとなりました。

ホソカワミクロン株式会社の機能性 PLGA ナノ粒子製造技術の応用範囲は広く、サンヨーファイン株式会社での大規模な GMP 基準による製造拠点の構築により、当社も医薬分野における更なる発展に寄与していきたいと希望しております。

以上

<参考>

\*1 PLGA

ポリ乳酸/グリコール酸共重合体。生体適合性・親和性を特徴とする高分子。

\*2 GMP

Good Manufacturing Practice の略。アメリカ食品医薬品局(FDA)が、食品、医薬品、化粧品の安全性を確保する目的で、1938年に定めた医薬品等の製造品質管理基準。